

デンマーク語 語形変化・発音小辞典

大坂外国語大学名誉教授 間瀬英夫

大阪大学 世界言語研究センター教授 新谷俊裕

大阪大学 世界言語研究センター
ヨーロッパ・アメリカ言語文化圏研究部門 I
新谷俊裕 デンマーク語研究室
2008 年

はじめに

デンマーク語は発音が非常に難しい。綴りと発音との関係を見ても、綴りと発音が大きく異なることがしばしばであり、また綴りと発音との関係に必ずしも規則性があるとは言えない。単語の中には変化形によって母音の長さや質が変化するものがあるが、母音字の綴りは同じままなのであるから厄介である。それに母音と一部の子音に関わることであるが、デンマーク語は聴き取るのも、発音するのも難しい。

このように発音の難しいデンマーク語であるから、デンマーク語をデンマーク語らしく発音できるためには、発音表記の付いた辞典が必要である。例えば、名詞 *steg*〈ローストした肉〉と動詞の過去形 *steg*〈上った〉の母音はまったく異なる音であることや、*elleve*〈11〉や *interessant*〈興味深い〉の下線を施した文字 e は発音されないことなどは、発音が示されていないと分かりようがない。

現在デンマークで発行されている発音辞典は、Lund ほか著『デンマーク語発音大辞典』と Molbæk Hansen 著『発音辞典』との2冊があるが、前者は大部かつ詳細であり、あまりにも専門的すぎるので一般のデンマーク語学習者には使いこなせない上に、現在は絶版中である。後者はその点、単語の語形変化も載せている上、発音の示し方も一般の学習者の使用に向いているが、物価、送料および送金手数料の高騰のため、一般の学習にはなかなか手の出ない価格になってしまっているのに加えて、用いられている音声記号が「国際音標文字」(IPA) とデンマーク語音の表記に一般的に用いられている「デンマーク式音声表記」(Dania) の中間的なもののためやや使いづらい感がある。

こういった事情に加えて、これまでデンマーク語学習者が一般的に用いてきたデンマーク語 - 英語辞典の *Dansk-engelsk ordbog* (*Gyldendals røde ordbøger*) が2008年の版からデンマーク語の単語の語形変化を一切載せなくなってしまった。つまりデンマーク語学習者にはデンマーク語の単語の語形変化を知ることが、発音を知ることが難しくなっているのが現状である。

そこで本書はデンマーク語の入門者、初級学習者、中級学習者を対象に、デンマーク語の見出し語1万強について、語形変化とそれらの発音を提示するものである。なお、この1万強の見出し語は、間瀬英夫大阪外国語大

学名誉教授・菅原邦城大阪外国語大学名誉教授・堀井祐介金沢大学准教授・新谷俊裕が現在編集中である『デンマーク語学習小辞典（仮題）』の見出し語をそのまま利用している。また、本書では、『現代デンマーク語入門』、『デンマーク語基礎 1500 語』、『デンマーク語会話練習帳』（いずれも大学書林発行）などで用いられている間瀬英夫大阪外国語大学名誉教授改良による「Dania 改良式」（DnMs と略す）発音記号を用いる。

発音表記に関しては、発音形が複数ある場合には表記の簡略化は一切行わなかった。たとえば、apotek は [apo'te:g, abo-] などとはせず、以下のよう示した。

apotek [名] [apo'te:g, abo'te:g], **apoteket** [apo'te:gəð, abo'te:gəð],
apoteker [apo'te:gə, abo'te:gə], **apotekerne** [apo'te:gənə, abo'te:gənə];

なお、発音形の選択および提示順序の決定は間瀬英夫名誉教授が行い、発音表記は新谷が担当したほかは、「I. 音声記号と凡例」は間瀬英夫名誉教授が担当、「II. デンマーク語語形変化・発音小辞典」は新谷が担当した。

なお、本稿で挙げた文献は以下の通りである。

Peter Molbæk Hansen: *Udtaleordbog*. Gyldendal, København. 1990. 『発音辞典』
 （本稿では MH と略す。）

Lars Brink, Jørn Lund, Steffen Heger, J. Normann Jørgensen: *Den Store Danske Udtaleordbog*. Munksgaard, København. 1990. 『デンマーク語発音大辞典』
 （本稿では SDU と略す。）

岡田令子・菅原邦城・間瀬英夫著『現代デンマーク語入門』。大学書林，1984年。

間瀬英夫・菅原邦城編『デンマーク語基礎 1500 語』。大学書林，1981年。

間瀬英夫編『デンマーク語会話練習帳』。大学書林，1979年。

本書は、大阪大学外国語学部デンマーク語専攻のホームページに、執筆の終わったアルファベットの項目から順次アップしていくことにする。

2008年10月

大阪大学 世界言語研究センター
 ヨーロッパ・アメリカ言語文化圏研究部門 I
 新谷俊裕

目 次

はじめに.....	i
本書について	v
I. 音声記号と凡例	
1. デンマーク語発音辞典と音声記号.....	1
2. MH の音声記号と DnMs (Dania 改良式) 記号のずれ	6
2.1. 子音記号	6
2.2. 母音記号	6
2.3. 韻律記号	8
2.4. MH と DnMs で記号が異なる場合の対応例 (左=MH, 右=DnMs)	8
3. 本稿の音声表記とその読み方.....	12
3.1. 略号および語形の提示順序.....	12
3.2. 長母音の短音化	13
3.3. 音長, stød.....	13
3.4. 弱母音 [ə] の発音.....	14
II. デンマーク語語形変化・発音小辞典.....	16